

羅針盤-祝入学号-

COMPASS

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL

第133号 2021.4.10(土)発行

教職をめざす学生・卒業生のために

関西外国語大学
教職教育センター



お祝いの言葉「入学・進級おめでとう」

教職にかかわる先生方より、みなさんへお言葉をいただきました。

ご入学、ご進級、おめでとうございます！

短期大学部 教授 明石一郎

春学期がスタートし、新緑まぶしく生命の芽吹きを感じる季節となりました。本学で教職をめざすみなさんは、夢と希望を抱いて日々の学業に取り組んでいることと思います。

保護者が子どもに願うこと、それは我が子が「元気で、賢く、優しく、逞しく、他人に迷惑をかけずに、将来食いはぐれがないこと」でしょうか。つまり、子どもの自己実現と社会貢献。一人の人間として「自立」（自分のことができる）と「共生」（他の人の役に立つ）力ではないかと思えます。

教育は、子どもの成長＝「人格の完成」をめざす営みです。賢さ（知）・優しさ（徳）・逞しさ（体）のバランスある人間形成をめざすものです。それ故、「教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努める」ことが求められます。（教育基本法第9条）

ある「教員に関する意識調査」によれば、教員に対して保護者が望んでいることは「教育への責任感や使命感」（68.7%）、「非行やいじめなどの問題行動への適切な対応」（58.0%）、「社会人としての一般常識」（50.8%）、「公正・適正な評価・評定」（49.7%）、「授業力や教科などの専門知識」（45.7%）などです。

意外にも保護者が教員の専門知識に期待する割合は50%以下で、それよりも責任感や使命感、一般常識など、大人のお手本として、子どもたちを指導してほしいというのが保護者の本音のようです。

ほとんどの教員は、大学などを卒業後、新任教員になるか、非常勤講師を経て採用された人が大多数です。ある意味、学校という職場しか知らないで、世の中の「常識」とかい離する傾向もあります。20歳代で「先生、先生」と呼ばれ、知らないうちに謙虚さを失い「独善」や「傲慢」が芽生えやすい

職業でもあります。教育職は、子どもの「命」に向き合い、日々の成長を促す崇高な職業です。常に謙虚で誠実であってほしいと願います。どの子どもも「私は、〇〇先生が大好き！」と言ってくれる、そんな素敵な先生になってください。新年度の初めにあたり、みなさんの一層の奮闘を期待しています！



悩むこと、それが成長に

短期大学部 准教授 堅田利明

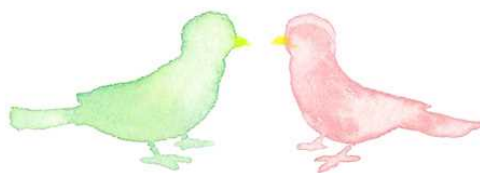
ご入学、ご進学、ご進級、おめでとうございます。

いま皆さんは、これからの人生をどのように思い描いておられるでしょうか。

明るく照り映えた道を勇ましく歩いていこうとするお姿と、一方で、眼前に立ちはだかる壁にどのように挑んでいけばよいのかという苦悩にさいなまれているお姿を想像することはできるでしょうか。

これまで多くの哲学者が人間の本質を多角的にとらえて人間論を提唱してきました。『夜と霧』の著者で精神療法家のヴィクトール・フランクルは、人間を「ホモ・パティエンス（苦悩する存在）」と表しました。精神的な苦悩は人間たるゆえんであり、人間特有の行為であると考えました。そして、「正しく悩みぬかれた苦悩は、悩む人に成長をもたらしてくれる」と。つまり、何について苦悩するのが重要であり、それは、「私は何のために生まれてきたのか」「私の人生にはどんな意味があるのか」を正面から悩みぬくこと、そのことに価値があり、やがては成長につながるのだとフランクルは述べています。

これまでの、そしてこれからの体験をどのように意味づけていくかは皆さんそれぞれに委ねられています。



Shall we climb the mountain of becoming a Teacher? Congratulations on your new start in Kansai Gaidai! Where there is a will, there is a way!! Better than Before! Keep it real!

英語国際学部 教授 西村孝彦

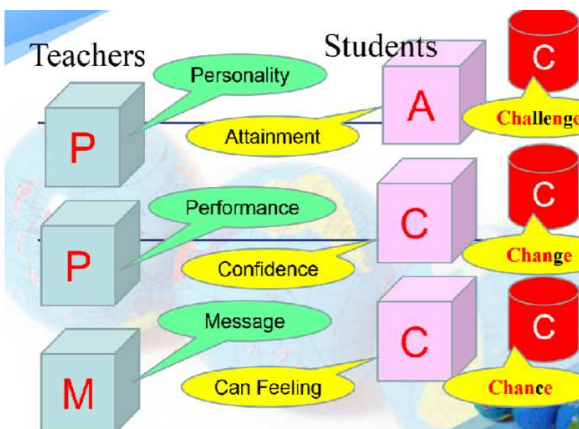
新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから教職をめざす皆さんは4年間かけてこの山



の頂をめざして登り続けることとなります。この山に登り続けるには自主的、継続的な Sustainable Development Power が必要です。この山頂を常に見つめ、常に自分が教壇に立っている姿を意識して、教職をめざす仲間と努力を重ねていきましょう。Shall we climb the mountain of becoming a teacher altogether? Where there is a will, there is a way!

新学習指導要領がスタートし、How to get information から How to use information へ、英語教育においても How to learn English から How to use English へ、すなわち学んだ英語を使ってみる。学校英語をいかに生活英語に密着させていくかを考え、Output 重視の英語教育をめざして、文部科学省も世界で展開されている TESOL(Teaching English to the Speaker of other language)を日本の英語教育に導入していく人材育成をめざしています。各都道府県が英語教育改革・改善に積極的に取り組もうと意欲を燃やし、またこれからの英語教育を担う人材育成に取り組む姿勢を強く示しています。中学校・高等学校で英語の授業を英語で行うことを基本とし、英語教員の英語力を今後公表していこうという動きにもなっています。

英語教員になるために、これからみなさんは自分の英語力を今できるかぎり大学在学中に磨いておくことが大切であると思います。そのうえで自分の Willpower を強固にし、何事にも“ I must do it.”ではなく“ I will do it.”さらに“ I want to do it.”という心が伴ってくれば、自分自身のための大きな成果が Get できると確信します。教員（教諭）になるのに今がチャンスです。Now, get the chance! みなさん現役合格をめざしましょう。



You should challenge anytime with positive thinking and for your challenge with your flexibility you should change your mind and take actions. Those actions lead to get a chance. To a teacher, it is necessary to make much of both teachers' personality and students' personality. It is also effective for teacher to keep the power of Natural Performance and timely messages.

As a university student, in your university life, a little achievement leads to a little confidence and can feeling. What is the most important thing is to step forward with your willpower. Go for it!!

夢に向かって

英語キャリア学部 教授 坂本 暢章

新入生の皆さん！入学おめでとうございます。そして教職課程によろこそ！！

教職課程には、真剣に教員を目指す仲間たちと、その頑張りを支える経験豊富な先生やスタッフ、そして、これからの教員に必要な幅広い経験を育む環境が整っています。くわえて、多くの先輩たちが教員として学校現場に巣立っているという確かな実績もあります。

本気で学校の先生になりたい人！あなたはとても良い学校を選んだと思います。ぜひ、安心と自信をもって学んでください。

在校生皆さん！進級おめでとうございます。

長い4年間の中では様々なことが起こります。とくに昨年度はコロナ禍の中で心が折れそうになった人もいると思います。

ただ、そんな時は近くの小・中・高校の様子を覗いてみてください。社会が混乱する中でも、子ども達は元気に学び・遊び・成長しています。そんな子ども達を守り育てるのが先生のお仕事です。

学校現場は元気です！だから、先生になろうと考えている者がへこたれているわけにはいきません。進級を機に、もう一度自分を見つめなおし、夢に向かって、残りの貴重な日々を着実に歩んでほしいと思います。

我々は、頑張る君たちを全力で導き・サポートします。自分の力と、関西外大の力を信じて、しっかり頑張ってください。



探求心が大学生活を切り拓く

英語キャリア学部 教授 塚田泰彦

コロナ禍の一年に耐えて始まった新しい年度です。大学生となった皆さんにとって、これからの4年間がきらきらとした生きる希望で満たされ、不安もそれほどではないことを願っています。多くの人にとって最後のまとまった学びの機会となる本学へのご入学をこころよりお祝い申し上げます。

受験勉強から解放された今、学ぶことの意味も可能性も拡大し、皆さんの学びは本来の自由を取り戻すところに差し掛かっています。しかし、この解き放たれた荒野で、暫くの間、悩み迷うことも多いでしょう。ただこの不安定な試行錯誤のプロセスこそが、あなたの生涯にわたる学びの姿勢を決定づけることになるのです。20歳前後の本学での学びの成果が生涯にわたってあなたの生活を根幹で支え続けることとなります。

授業はもとよりですが、関西外大のグローバルで先進的な環境は、一人一人が進んで多くの人と接し、その声に耳を傾け、そして何よりも臆せず自分から問いかける姿勢を強く求めています。この未来へと開かれた探求心は、知的なものだけでなく、社会の成長のためにも、自分の成長のためにも、何かを乗り越えていく最大のパワーとなります。

教職をめざす人にとっては、この探求心が子どもと一緒に学ぶことの楽しさを支え、また同僚との共同生活を実りあるものにするのです。



教職をめざすみなさんへ

～創造性を高める～

英語キャリア学部（小学校教員コース） 教授 浦嶋敏之

みなさん、ご入学・進学おめでとうございます！

“With コロナ”時代と言われ、生命尊重のもと新しい価値観や文化、制度が生まれつつあります。学校現場でも、多くの取組みの見直しを余儀なくされました。例えば、「修学旅行に行かせてやりたい。」「安全を考えると今は・・・。」等、様々な議論が交わされる中、取組みの目的を再確認し子どもの意見も入れながら再構築を行う、そんな作業が繰り返されました。制限のある中で創意工夫し、成し遂げた感動は、仲間と協力した達成感とともに困難の乗り越える自信につながったという多くの声を聞きます。先の見ない中で、子ども成長を願う保護者、地域の期待に応える学校の底力を感じるとともに、“ピンチをチャンス”に変える教員の創造力には敬意を表します。

今日、「GIGA スクール構想」が前倒しされ、ひとり1台のタブレット時代に突入したことで、学習のシステム化、パッケージ化がさらに進展することが予測されます。同時に、“予測困難な時代”とい

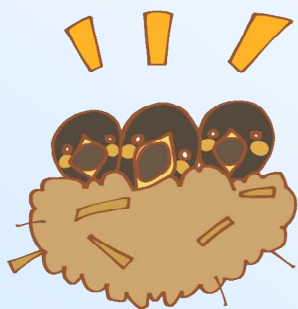
われる今、子どもを取り巻く状況の変化を、意義のある教育活動に変換できる教員の創造力が一層求められる時代でもあります。

教員の仕事（教育の営み）は、人とのつながりを通して子どもの生き方を創る仕事です。子どもとの信頼関係を築き仲間の絆を深めながら、一人ひとりの未来への道筋を創っていくのです。そのためには、子ども達を受け止める広い視野や多様な価値観を持ち、創造力に磨きをかけることが大切です。子どもからの“正解のない問いかけ”をしっかり受け止め、共に悩み、一人ひとりの成長の芽に光を注ぐことができる、そんな教員をめざしてください。

“GO FOR it!”



花芽を出した我が家のチューリップ



Go for it!

